

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 広瀬小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）				
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
2	児童が自分の課題解決に向けて主体的に学び、個々の学力を定着させる。	★	継続	①児童に基礎的・基本的技能を活用させ、個々の学力を伸ばす。	○個々の学習の目標を設定したり、個人やグループ、異学年で学び合ったりしながら、自分に合った学習方法で取組ませる。	○学びファイルを用いて個々の学習状況を把握し、成長を見取る取組を100%にする。 ○児童アンケートにより、自己の成長が実感できた児童を90%以上にする。								
			継続	②自分にあった目標を設定させ、自分なりの取組方で解決していく主体性を育成する。	○学習内容の決定や単元のデザインを考え、児童が計画を立てた学びを通して個々の目標を評価する。	○児童アンケートにより、計画を立てての学ぶことが楽しいと実感できた児童を85%以上にする。 ○マイスタディプランを使って学習計画を立てる児童を85%以上にする。								
2	目標達成に向けて他者と協力し、自分とのかかわりを大切にする心を育成する。	★	継続	③課題解決に向けて協働し、互いを認め合いながら学び、肯定的な評価ができる児童を育成する。	○ひろせDASH!村プロジェクトに取組み、課題解決に向けて挑戦し認め合いながら学びを深める。	○児童アンケートにより、友達と協力して課題解決できたと実感している児童を90%以上にする。								
3	地域・保護者から信頼される広瀬小学校教育を推進する。		継続	④地域・保護者へ積極的に学校の情報を発信する。	○保護者や地域との積極的な連携、学校や中学校区の取組を情報発信する。（各種たより、HP、Google classroomでの発信）	○保護者学校満足度の肯定的評価90%以上にする。								
3	教職員が心身ともに健康で、教育活動に意義や達成感を感じることが出来る。	★	継続	⑤業務内容を精選しながら仕事に意義とやりがいを感じ、計画的に業務を遂行する力を育てる。	○会議等の精選・統括や教員相互のOJTを通して、人材を育成し業務改善を進める。	○時間外勤務時間月45時間を超える職員を0にする。								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。